

販促ツール作成事業計画書

1 申請者の概要等

フリガナ			
会社名／屋号			
フリガナ		代表者役職	
代表者氏名			
事業所所在地	〒 ー		
従業員数 (単位:人)		業種 (要綱別表参照)	
企業概要	メイン事業が対象業種でない場合は、対象業種となる事業についても企業概要に補足して記載してください。		
フリガナ		担当者 所属・役職	
担当者氏名			
連絡先住所等	〒 ー		
	TEL/携帯		
	FAX		
	E-mail	原則として、連絡はこの欄に記載のアドレス宛に行います。重要な連絡が漏れないよう必要に応じて複数のメールアドレスを記載してください。	
	URL		
令和3年度ものづくり販促ツール作成支援補助金の利用歴について			
		交付決定年月日	
利用したことがある			
利用したことが無い			

※利用歴がある場合は、これより以下の項目に記載する際、前回の申請と今回の申請の違いが明確になるように記載してください。

2 事業内容 ※これより以下の内容は発注を依頼する事業者と十分に相談した上で記載してください。

(1)発注先の県内IT関連事業者

事業者名	和歌山県 IT 関連事業者登録名簿から記載してください。
事業所所在地	〒 ー

(2)申請者の現状

①自社のウェブサイトやウェブ媒体ツールの活用状況、及び新たに作成・改良を行う必要性や理由
<p>【審査のポイント】 申請者が自社の状況や課題を的確に把握分析できているか、また今回作成・改良を行うことが企業の発展にいかにより必要で、どう課題解決に繋げるか、どれほどの効果を生むか</p> <ul style="list-style-type: none">・自社の事業活動における目標及びそのためにウェブサイト等をどのように活用するか(したいか)。・現在どのようなウェブサイト等を持ち、どのように活用しているか。・上記において、現在のウェブサイト等ではどのような課題があるか。なぜウェブサイト等を新たに作成・改良する必要があるのか。・新たに作成・改良することによって、前述の課題をどう解決して目標にアプローチできると考えるか。どのような効果が見込まれるか。

この記載要領でお示ししている項目は、記入必須ではありませんが、審査において参考となる項目ですので、趣旨をご理解いただき、申請者の実情に応じて記入してください。

(3)事業内容

①本事業の具体的な内容
<p>【審査のポイント】 具体的に何をしようとしているのか、課題を解決するに適した内容か、本当に効果が見込まれる内容か、経費計上及び費用対効果は適正と考えられるか</p> <ul style="list-style-type: none">・上記「申請者の現状」を踏まえ、補助金を活用してどのようなウェブサイト等の作成・改良を行うか。 (具体的な完成イメージ、ターゲットとなる客層、ECサイトは自社で作成するのか又は大手ECサイトを利用するのか、今のサイトのどこをどう改良するか、など)・選定したIT関連事業者は課題解決になぜ有効か。 (例: 課題であるECサイト構築を得意とするから、ターゲットとする〇〇層に訴求するデザイン力があるから、〇〇業のサイト構築に実績があるから、など)・上記「申請者の現状」における課題を解決するために、どんな点を工夫するか。・本補助金に申請する経費は主に何に必要などんな経費か。 (例: ターゲット客層に合致したデザインにするためのデザイン料・情報発信手段のコンサルティング料、検索ニーズの把握に合わせたコンテンツの企画料など)

②本事業実施後の運用体制(更新頻度や活用方針など)

【審査のポイント】

作成・改良したウェブサイト等を効果的に使うために、更新やメンテナンス、ウェブページの効果の分析、アクセス数増加への工夫を継続して行う必要性を理解しているか、またそのためにどのような努力をするか、それは実現可能なものか

・作成・改良したウェブサイト等を効果的に活用するため継続してどのような対策を取っていくか

(例: 職員が定期的に更新できるようCMSを利用する、担当職員を決めて毎日SNSへ投稿する、月1回はアクセス状況を解析して投稿数を増やす、アクセス数を増やすために〇〇な工夫をする、など)

・ウェブサイト以外の情報発信ツールを利用する場合、どのような媒体をつかってどんな内容・頻度で発信するか。

・情報発信の効果をどのように分析するか。